

熊本市立図書館の機能・あり方について

施設概要	交通アクセス	市電・バス(各社)「味噌天神」下車 徒歩8分			・閲覧室(開架書庫)エリア ・閉架書庫エリア・電算処理室 ・対面朗読室・事務室・学習室 ・集会室・倉庫・トイレ etc…
	運営手法	直営			
	建築年度	昭和57年度(1982年度)	延床面積	5,230.76㎡	
	構造・階層	鉄筋コンクリート造・地下1階地上2階	蔵書数(R6)	574,805冊	

現状・主な課題

① 施設環境

- ・築40年以上が経過。1階の郷土資料室及び事務室・2階事務室における雨漏り原因箇所の特定中
- ・一部電動書庫故障(修理不能)による不具合



- ・トイレ、給排水設備の更新、また大江公民館側などの外壁(タイル)補強の改修が今後必要



② ホールのあり方

- ・ホールの音響設備については、改修に多額の費用が必要なことから供用開始から更新できていない。(改修を行うにあたっては、書庫への転用なども含めて改めてホールの必要性、利用方法の検討が必要。なお、改修する場合は、照明のLED化、操作卓や音響機器等の更新、舞台吊り物の更新等についても実施する必要がある。)



③ 市民ニーズに対応するための機能の見直し

- ・図書館サービスの向上に向け、既存サービスの見直しや新規サービスの検討を行う必要がある。
- ・検討にあたっては、連携中枢都市圏や熊本県との相互利用等の更なる拡充等もあわせて検討する。

参考

宇城市立図書館については、中規模改修の実施にあわせて、カフェの設置やLINEでの図書の予約、貸出などのサービス向上に取り組んだ。



現状・主な課題

④ 管理運営手法の検討

- ・図書館の管理運営については、くまもと森都心プラザ図書館、城南図書館に指定管理者制度を導入しているが、本館や他の分館(植木図書館、とみあい図書館)については、直営で行っている。

パターン1	引き続き、直営で管理運営を行う	
パターン2	本館全体に指定管理者制度を導入する	例) 宇城市立図書館・分館
パターン3	選書機能、企画機能、図書館全体の調整機能など、コア業務を除き指定管理者制度を導入	例) 福岡市総合図書館

パターン2・3の場合、施設の大規模改修とその後の運営を一体的に民間事業者に発注する方式(RO方式)についても検討

参考	・現在、本館については、職員19名、会計年度任用職員30名(土日祝日のみ勤務の職員含む)、とみあい図書館については、職員1名(館長)、会計年度任用職員4名、植木図書館については、職員3名、会計年度任用職員6名で運営。 ・平成30年(2018年)に図書館の管理運営体制等の見直しがあり、本館については直営を維持する方針となった経緯がある。
----	---

本館



植木図書館



とみあい図書館



⑤ 駐車場について

- ・土日祝日は、利用者が多く駐車場不足になることが多い。ハローワークや近隣飲食店を利用する際の目的外利用などの現状がある。
- ・駐車場の目的外利用や長時間利用の抑制に向けて、平成29年(2017年)に駐車場利用の有料化の検討を行ったものの、採算性の問題等により実施には至らなかった。

駐車場	台数	利用者	所管(管理者)
西側	31	大江公民館・図書館利用者	大江公民館
東側	17	図書館利用者	図書館
第二	53	大江公民館・図書館利用者	図書館・保育幼稚園課



(1)企画・統括機能

- ・ 社会情勢の変化や市民ニーズに的確に対応した全市的図書館サービスの企画・推進
- ・ 資料の収集・保管の統括及び本市図書館全体を捉えた資料構築
- ・ 図書館ネットワークの管理・運用
- ・ 関係機関、団体等(ボランティアなど)との全市的な連携の推進 など

取 組	概 要
全市横断的な図書館サービスの企画・推進	図書館サービスの総合調整、平準化などを全市横断的に推進
ICTの活用などによる新たなサービスの企画・推進	マイナンバーカードの活用や予約本受取りについて自動化・セルフ化などを推進
蔵書構築の総合的管理	資料の一括選定や購入、配置などそれぞれの図書館の機能・特性を生かした戦略的蔵書構築を推進
図書館ネットワーク（システム・図書配送）の運用・管理	市内図書館・図書室等のどこからでも、貸出や返却、取寄せなどが行える図書館ネットワーク（システム・図書配送）の運用・管理
関係機関、団体等との連携	関係機関・団体等との連携において、中心的役割を担うことで、新たな事業の実施やサービスの提供を行う。
図書館サービスが行き届いていない地域への取組の検討	移動図書館について、地域の実情を勘案し、巡回場所を見直すとともに、効率的かつ効果的なサービス提供の検討
電子図書館の管理・運営	電子書籍の貸出や、行政資料の保管・提供サービスなどを実施
学校との連携	学校図書館支援センター等を通しての子ども読書活動の推進

(2)専門的機能

- 充実した資料、設備、専門人材による、多様化、高度化するニーズに対応したサービスの提供と分館や公民館図書室等への支援

取組	概要
幅広く豊かな蔵書の充実	市立図書館（本館）ならではの幅広い蔵書の充実。本館機能の役割として、分館・公民館図書室の蔵書を補完する豊かな蔵書の充実に努める。
蔵書保存の取組	蔵書の充実と適切な更新を図りながら、本市図書館全体の必要な蔵書を適切に保存し、将来に向けて必要な蔵書を継承する。
レファレンスサービスの充実	利用者及び住民の要望や社会の要請に応えていくために、専門的人材によるきめ細やかな相談支援の実施
分館・公民館図書室への支援	分館・公民館図書室からの利用者対応や図書館システム操作などの相談に対し支援を実施

(3)人材育成機能

- 専門的な人材の確保・育成

取組	概要
専門的人材の確保	専門的なサービスを実施するために必要な司書等の計画的な確保
司書養成の促進	司書養成の促進に向けて、司書実習の受け入れなど司書養成に取り組む大学・学校等と積極的な連携に努める。
研修による人材育成	分館、公民館図書室職員含め、定期的に専門研修を開催し、人材育成に努める。

①実施期間

令和6年10月22日（火）～11月17日（日）

②対象者

小学校高学年以上

③実施方法

（1）アンケート用紙記入による回答

市立図書館においてアンケート用紙を利用者に手渡し、又は設置して記入

（2）ウェブによる回答

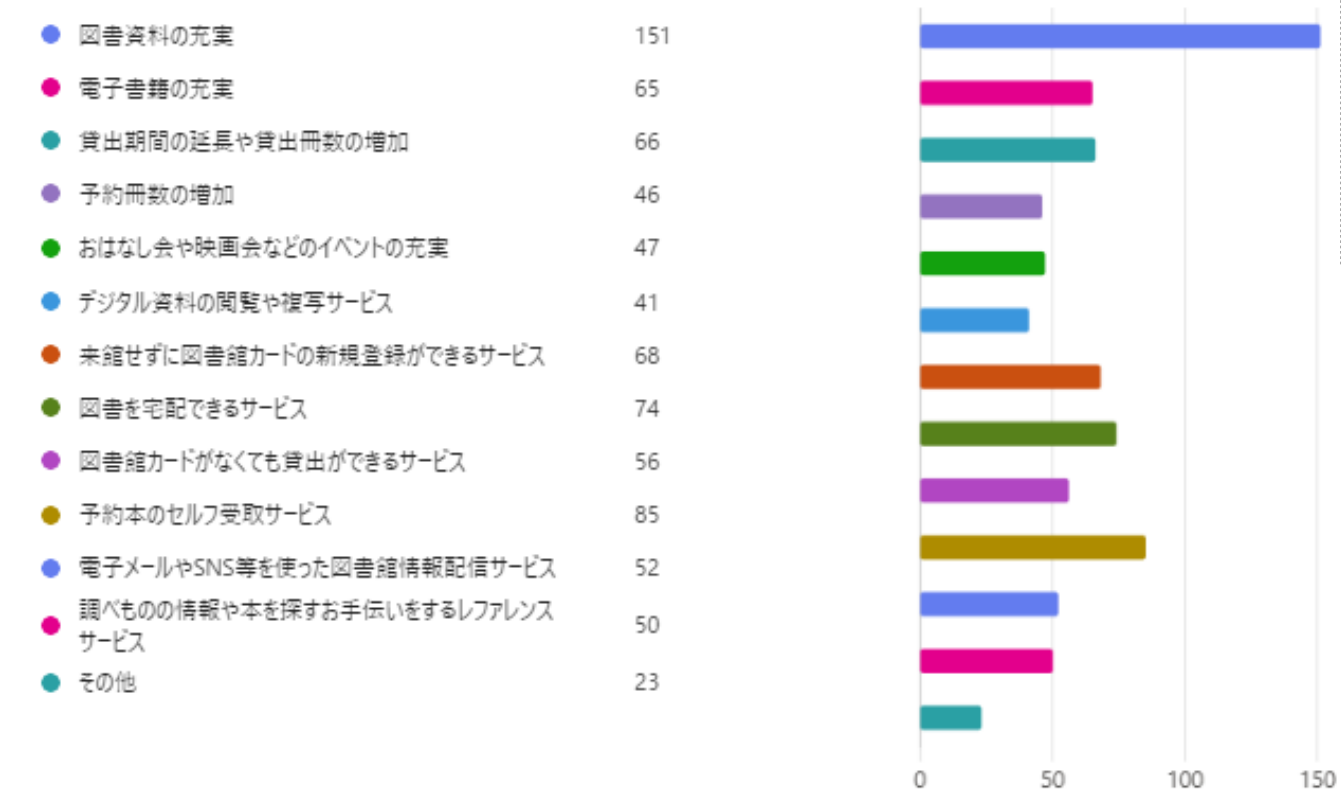
図書館HP、熊本市HP、熊本市LINEからアンケートシステム「Forms」により回答

④アンケート回答数

319人（アンケート用紙記入30人、ウェブ289人）

参考：熊本市立図書館(熊本市中央区大江)に関するアンケート結果 抜粋

16. 問16 本館のサービスでさらに充実してほしいものや今後新規に取り組んでほしいと思うものは何ですか。(複数回答可)

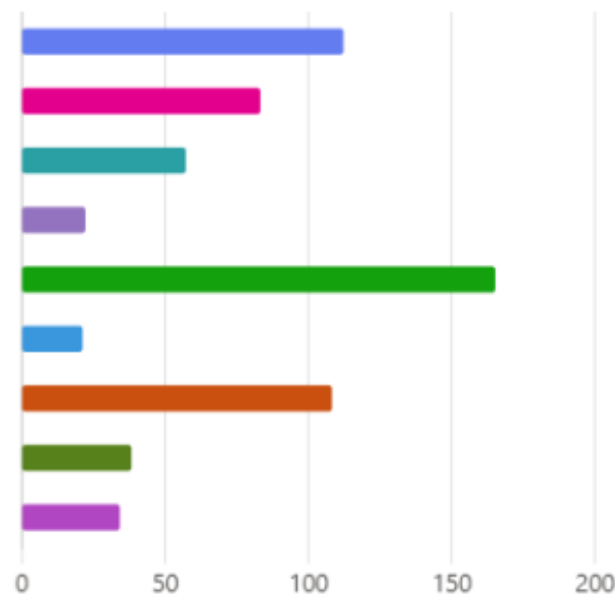


多い順から

- ・図書資料の充実 151
- ・予約本のセルフ受取サービス 85
- ・図書を宅配できるサービス 74
- ・来館せずに図書館カードの新規登録ができるサービス 68
- ・貸出期間の延長や貸出冊数の増加 66

17. 問 1 7 本館施設であつたらいい（変えてほしい）と思うものは何ですか。（3 つまで）

● 閲覧席の増設	112
● 学習室の増設（一人用スペース等含む）	83
● 館内の書架（棚）の増設	57
● 会議室や少人数で利用できるスペース	22
● 駐車スペースの増設	165
● ユニバーサルデザインを取り入れた案内表示板等	21
● 館内で飲食できるスペース	108
● 人との交流スペース（ボランティア活動グループや地域の団体等が情報交換できる場所）	38
● その他	34



多い順から

- ・ 駐車スペースの増設 165
- ・ 閲覧席の増設 112
- ・ 館内で飲食できるスペース 108
- ・ 学習室の増設（一人用スペース等含む） 83
- ・ 館内の書架（棚）の増設 57

参考. 図書館の整備・機能拡張

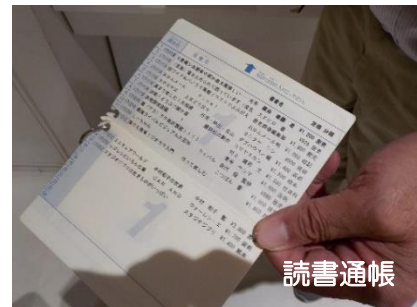
～利便性向上、利用促進やニーズの多様化を踏まえた図書サービス提供の事例～

● 図書館先進地視察（令和4年～令和5年度）及び近年県内でリニューアルオープンした図書館より

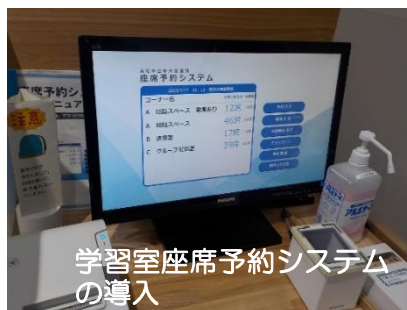
愛知県安城図書情報館（R4視察）



菊池市立図書館（R5視察）



静岡県浜松市中央図書館（R4視察）



長崎ミライon図書館（R5視察）



荒尾市立図書館



宇城市立図書館

